



赤いくつ

特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブ
ライフ・クラブ
ナルク 横浜
発行者 吉川 武

横浜市旭区鶴ヶ峰2-24-6
TEL 045-719-5001
FAX 045-719-5002
Email: nalchama@minos.ocn.ne.jp
http://www.nalc-hama.net/



第26回ナルク横浜定時総会を書面採決で実施

事務局長 福江 孝夫

ナルク横浜運営規則では、定時総会を年一回開催することになっています。直近の4年間は6月第1日曜日に、旭区鶴ヶ峰の「ぱれっと旭」を会場として実施しました。

定時総会では議案の審議・採決に続いて、ボランティア活動事例の紹介、コーラス・楽器演奏などの懇親会、またいろいろな分野の会員作品展示もあり、貴重な交流の場でもありました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場を設けての集会方式を中止し、特例として、書面採決による第26回定時総会(6月7日)へ変更します。



定時総会までの流れは次の通りです

5月8日：総会議案書・回答書発送開始



4議案につき、個別に賛否を記入、返送



5月31日：回答書締切(当日消印有効)



6月7日：書面による定時総会

提案は次の4議案です。

◎第1号議案：令和元年度活動・決算・監査報告

◎第2号議案：令和2年度活動計画・予算案

◎第3号議案：令和2年度選任・退任運営委員案

◎第4号議案：NALC横浜運営規則の変更案
(事務所移転による拠点所在地変更)

なお定時総会での議決結果については、各ブロックでの6月度交流会、および7月初めに発行するナルク横浜会報「赤いくつ」第96号で報告します。

まったく異例の第26回定時総会開催ですが、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



やさしさも楽しさもある
ナルク横浜



3月末会員数：475名、(男性：195、女性280)

項目 ブロック	会員数	預託時間点数		奉仕時間	
		2月	3月	2月	3月
北	156	121	70	117	23
湘南	76	30	3	75	10
西	180	245	49	149	55
中央	63	74	27	35	0
合計	475	470	149	376	88

交流会あれこれ

北ブロック

コロナウィルス感染防止の為外出禁止自粛要請が出ています。その余波を受け、3月・4月の交流会が中止になりました。

”あれ・これ“の材料がありません。そこで過去のテーマを今一度見てみよう… 年2回のビッグイベントと工場見学は別枠として、一年の中4、5回は学習系、そして生活に密着したものが多いことがわかりました。今年度は非日常的なもの、楽しい遊びを取れ入れコミュニケーションを築きたいと思います。交流会の参加者が増えることを願っています。



西ブロック

2019年度のナルク横浜の活動方針に『会員同士で顔の見える関係を築く』という項目があり、これを達成するため西ブロックでは2020年2月から3カ所で交流会を開くことに決めました。旭区方面・泉区方面・大和方面です。

旭区方面は第2日曜日、泉区方面は第3日曜日、大和方面は第3土曜日で開くことでスタートしました。

2月度の結果は、旭区方面14名、泉区方面16名、大和方面7名、合計37名の参加となりました。昨年度の月平均の参加者は23名で、交流会初参加の方が5名いるので大きな効果が出ているように思われます。

目標値を参加人数50名にしていますので、もう少し呼び掛けて、旭区方面20名以上、泉区方面20名以上、大和方面10名を狙って目標を達成したいと考えています。



湘南ブロック

コロナウィルスの「感染力」といい「感染期間の長さ」といい、凄まじいものがありますね。

こんなに世界的に影響があるものとは想像だにしませんでした。「交流会」は、会員間の助け合いを円滑にする源泉であるとの認識で非常に大切にしていまいりましたが、今回だけはウィルスの力に屈した状況となり、3月8日に計画した「パークゴルフ会」や4月5日の平塚総合公園での「花見の会」は中止せざるを得ませんでした。

早くコロナウィルス問題が収束して、交流会がまた賑やかに開催されることを祈っています。



中央ブロック

「新型のコロナウィルス脅威なり日毎夜毎に版図広げ行く」。これは短歌を趣味にしている或る先輩からメールでいただいた作品です。

この歌の通り、中国武漢で発生したと思われる「新型コロナウイルス」があつという間に全世界に広まり、直近では「東京オリンピックの最長1年の延期」「東京、神奈川など大都市圏での不要不急の外出自粛」など未だ経験したことのない事態が生じています。

これに伴いわがナルク横浜でも2月後半からほとんどすべての活動、交流会を含む行事が中止に追い込まれています。そのため「交流会だより」も目下休眠状態、一日も早く「交流会」が再開されて結果をこの「交流会だより」でご紹介できる日を待ち望んでいます。



新入会員のひとこと

北ブロック

臼倉 富男

6 年前に中途失明した私は、七沢にあるライトホームで半年の間、訓練を受けました。

そこでは、感覚訓練・点字の習得・生活全般の訓練や、モバイル機器の使用方法などを学んできました。

その訓練先で知り合った長南さんにナルクに誘われ、説明に来て頂いた福江さんに入会手続きをお願いしました。

3 月から月に二度、相模原～伊勢原間の送迎をお願いしています。

又、手を貸して頂けるなら歩こう会に参加してみたいです。

私の地域活動

中央ブロック

坂間 光蔵

アウトドアの趣味の仲間を取り込み、障害児者施設での園芸活動をしています。登録は 5 人、月に数回、1 回 3～5 時間。定員 100 人の築 30 年の入所施設、広い敷地の除草・樹木の伐採や剪定、花の管理、併設する小規模保育園の畑や花壇の応援も。

昨年の秋、ナルク横浜の大家さん宅から移植した 10 数本のブルーベリーに鳥害防止ネットを張り養生中です。保護者の方の期待は大きい十分な収穫の時期は来年楽しみです。夏の暑さにブーブー言いながらも、なぜか楽しんでいます。

原稿募集のお知らせ

特集号「私の趣味」記事を募集いたします

赤いくつ編集委員会では、年 1 回会員の皆様に呼び掛け「特集号」を発行することとして、昨年は「私の旅行記」を特集しました。

今年は「私の趣味」の特集号を企画いたします。ふるって応募ご参加ください。

内 容 : 私の趣味

字 数 : 600 字程度 写真一枚添付ください

提 出 : 7 月末までに各ブロック長宛お送りください

(メール・郵送どちらでも可)

掲 載 : 赤いくつ 9 月号に掲載予定です



コロナウィルス感染症、ナルク横浜の対応

事務局長 福江孝夫

2 月度運営委員会 (2 月 26 日) で、翌 27 日以降 3 月末日までの、施設ボランティア、同好会、研修会・講座、ブロック交流会を原則として、中止・延期することを決め、実行しました。

その後の政府・神奈川県・横浜市の対策の拡大、さらには 4 月 7 日の緊急事態宣言を受けて、歩こう会を含む諸活動の中止を 5 月末までに延長しています。

例外は月 2 回の合同委員会 (三役、事務局、ブロックリーダー)、活動実績の入力作業、事務所当番です。このうち事務所当番は月曜日、水曜日、金曜日の 13 時～16 時に短縮しました。

当番不在時は、事務所留守電 (045-719-5001) に伝言を残すか、所属ブロックのリーダーへ連絡するか、あるいは福江宛て電話 (090-7736-8092) を、お願いいたします。



3月歩こう会「真鶴半島散策」

西ブロック 内田 成孝

3月の歩こう会「真鶴半島散策」は3月17日に行なった。折からの新型コロナウイルス対策から、実施か、中止で悩むこととなった。

会員の活動や、集会が自粛され、心身の活力低下が進むことが心配された。感染症対策としての身体活動について「人込みを避けた散歩」等の運動は勧められている。

「豊かな森と海に囲まれた自然の宝庫真鶴半島」へ出かけて気分転換を図りたい人が一人でもいれば案内をしようと中止は思いとどまった。幸い当日は、好天に恵まれ午前10時、JR真鶴駅集合8名が参加した。

まず、竹林に囲まれた「荒井城址公園」を目指した。しだれ桜は開花を抑えている状態であったが、巨木のシャクナゲ(朱色)と木蓮(紫と白)が満開で、見事なコントラストを醸し出していた。

半島先端の三ツ石海岸を目指し歩を進めた。樹齢350年と言われているマツの群生やシイ、クスノキが生い茂る森を抜ける、この森は昔から漁師達の間で「魚を育てる森」として大切に守られている。「潮騒遊歩道」を通り、三ツ石海岸に行く予定であったが昨年の台風被害により通行止めとなっていた。帰りはスキューバダイビングのメッカ琴ヶ浜を通り、輝く海の中の景色を想像した。海岸に沿って整備された遊歩道を通り、防波堤や石垣に使用されている真鶴の銘石「小松石」に魅了されながら、歴史ある半島の「歩こう会」は終了した。

人が少なく、自然と各自の歩行にあったコロナ対策「密接」を避けた隊列が出来、魅力に溢れる半島を独り占めしたような気分であった。



— 歩こう会 —

- 6月「開成町あじさい祭り見学と周辺散策」
- 7月「オリンピック関連施設見学」(予定)

上記の予定はいずれも中止になりました



問合せ先はいずれも

北 沼沢 新太郎 042-733-8528
湘南 吉川 武 0463-58-6030

＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
卒論に悪戦苦闘卒業す	一里塚の右は旧道花馬酔木	木蓮のしづく一筋光る朝	小さな木の未来を託す植木市	轆りや畑には赤き耕運機	言ひかけて口ごもる父鬼胡桃	田も畑も人も古びし御慶かな
(皓村)	(えつ子)	(良一)	(京子)	(佳子)	(閑人)	(閑人)

ハマっ子広場
俳句同好会
講師



あとがき

今年の春はウィルスの騒ぎの中、サクラはピンクの花びらをたくさん付けて私たちの心を癒してくれました。自然に感謝です。先の見えない折ではありますが、小さな自然に目を向けさせてくれる時間を、私たちナルク会員にプレゼントして頂いたのだと思います。草花にも目を向けて毎日を心穏やかでありたいです。個人の行動には充分気を付けて自粛に協力しましょう。

小林 ちかね